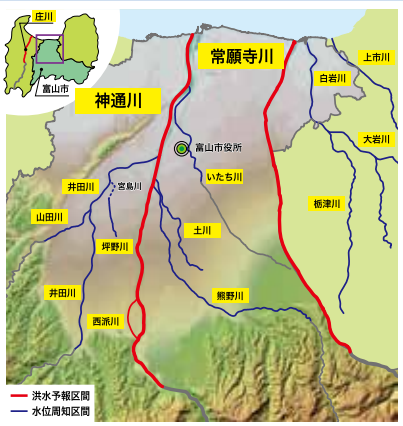
まさか！が現実に！ 親子de防災

水害編

地球温暖化により、最近は雨の降り方が激しく、経験したことのない豪雨が各地で発生しています。
特に富山県の川は急流河川が多く、上流で降った雨が下流で一気に氾濫する危険性があります。
いざという時に慌てないよう、親子で備えておきましょう。

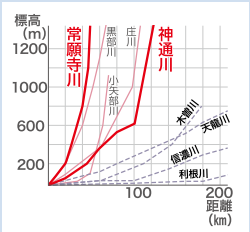
富山県の河川



※常願寺川および神通川のはん濫イメージ　国土地理院提供データより

富山市は神通川と常願寺川に挟まれているよ

神通川と常願寺川はこんなに急なんだね



『常願寺川水系河川整備計画』
国土交通省北陸地方整備局
富山河川国道事務所（平成21年11月）より

住んでいる地域の災害リスクを知ろう

防災（水害）の１歩は、
まず自分の家の浸水リスクを知ること！

富山市から配布された以下のものを活用し、把握しておきましょう。

大雨に備える マップと手引き

洪水 ハザードマップ

また国土交通省のハザードマップポータルサイトでも富山県の情報を調べられます。

親子de防災

防災さんぽ

家の周辺に危険な場所がないかな？
一緒に歩いてみよう！

ライフラインの代替えを準備（停電や断水対策）

家が無事で在宅避難する場合でも、
停電や断水になる場合があります。

水や食料の備蓄、カセットコンロや簡易トイレの準備などをしておきましょう。
また普段から意識して、時々は子どもと一緒に試しておくと、いざという時にも対応しやすくなります。

親子de防災

水・電気を使わない生活を体験しよう

- ポリ袋でご飯づくり
- 懐中電灯でランタンづくり

などなど楽しみながらやってみよう。
トイレはどうする？
作り方は調べてみてね！

女性防災士に聞きました！ 子育て家庭の防災術

無理なく取り組める
小さなことから始めませんか？

日中は、私と下の子だけになるので、地域の方々と一緒に動けるように、同世代・異世代の交流を大事にしています。あとは上の子の保育園の避難先も把握しています。

私は、子どもの気が紛れるようにお菓子やおもちゃ、何でも入れられるようにファスナー付ビニール袋などをいつも携帯しています。緊急時にもきっと役立つはずなので！

この子たちと最低3日間過ごすために絶対必要なものを考えて準備しています。子どもの年齢（月齢）によって必要なものは変化するので、時々見直しも。

記事監修

NPO法人
富山県防災士会
女性部

富山には、
たまたま災害が
起こっていないだけ！

子どもや家族を守るために、
“暮らしの中に防災”
を取り入れていきませんか？
富山県の女性防災士が、
暮らしの中でやっている
「防災」を紹介しています。

暮らしの中に防災を